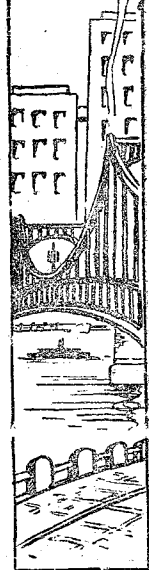


論 說



新年を迎へて

水野 鍊 太郎

昭和十九年を迎へて、謹みて聖壽の萬歳を壽き奉り、皇室の彌榮を頌し奉る。

回顧すれば昭和十六年十二月八日米英に對し戰を宣するの大詔を拜してより以來、御稜威の大海陸皇軍の善謀勇戦はハワイにマレイに大勝を博し、次ぎ次ぎに百戰百勝攻むれば略し戦へば克ち殊に最近敵米英の強靱なる大反攻の機會を捉へて比類なき赫赫たる大戦果を擧げ帝國を不敗の地に置き、其の偉勳は千古に輝き究極の勝利は我にありとの確信を與へられたる皇軍將兵の敢闘奮戦に對し滿腔の感謝を表すると共に忠烈殉國の英靈に對し敬申の誠をさゝげ、且つ傷病の將兵には深き同情を寄せ其の平癒を祈願する次第である。

抑も帝國が已むを得ず經濟的軍事的壓迫を加へ來れる米英に對し自衛上驟然起つて干戈を執るに至つたのであるが、八紘爲宇に基く道義に依り大東亞諸國諸民族をして米英の搾取桎梏より解放せしめ、其の自覺と熱意とを以て共存共榮の新秩序を確立し大東亞共榮圈を建設することとなつた。然れども戰勢は愈々益々緊迫し來り米英の大反攻は熾烈を加へ、多大なる犠牲を顧みず我本土を攻撃せんと

するは明白なる事實である。即ち一大決戦の時機は刻々近かつきつゝある、この時に際り大東亜諸地域は一團となり經濟的に又軍事的に共同の方途に出でねばならぬ。これが爲めには戦力の増強が如何に喫緊事であるか、生産力の擴充が如何に重要であるか、輸送力が如何に敏捷を要するか敢て多言を要さぬのである。

這般運輸通信省が設置せられ運輸の整備に重點を措き茲に政府が力を致すを明示したのであるが、元來道路は人的物的の陸上輸送上に至大なる役割を有するものなるかは其の性能に照らして明かである。即ち生産の擴充軍需品の増強、人の動き等に應じて鐵道と並行して自動車の運轉等に對し必須的使命を有するものである。戦争は新らしき道路を生み、又道路は戦争の勝敗を決するものであると謂はるるは故なきことでない。蓋し近代戦の特色は作戦的に見れば速度と力と補給の戦であるが一面から見れば經濟的には戦ひつゝ建設するものと言ふべきであるからである。又防空的考察を加ふるとき道路は其の設備として必然的工作を施さねばならぬ、換言すれば防空には機動性を發揮し得る所の道路を作るの必要がある。尙更らに空地間隔の必要上所謂疎開道路の建設も亦見逃すべからざる道路工作である。

要するに道路は平時經濟とは密接な關係を有するは勿論戰時に於て戦争と道路とは不可分の關係にありて今後益々此の關係は増大するのであらう。道路の性能が文化に交通に運輸に充分に發揮せらるるのは固より直接戦争に對し其の効果を齎らせねばならぬことは當然の事である。

念ふに道路が人類の集團的生活に必要缺くべからざる基本施設であり、文化に經濟に必須の施設であり、軍事に缺くべからざる設備なるに於ては其の系統的道路網、技術的構造、經濟的施設、軍事的設備として整備せられなければならぬ。官民一致協力茲に思を致し道路の整備に力を盡されんことを切望せざるを得ない次第である。